

農業情報(3月)

暖冬小雪が続いたことにより、農作物の生育が早まると予想されます。園地をこまめに観察し、天気予報をチェックして適宜に作業を行えるように備えましょう。

■さくらんぼ凍霜害対策

生育が早まり、凍霜害の発生が例年以上に心配されます！！

※前年度は3月28日から降霜がありました。

防霜資材の準備や散水設備、防霜ファンの試運転は早めに行いましょう。

花芽が膨らみ始める発芽10日頃からだんだんと霜に弱くなるため注意が必要です。基本的な防霜対策を紹介します。

【対策①】 土壌かん水

土壌が乾燥していると夜温の気温低下が早まり、凍霜害に遭いやすくなります。晴天が続くなど土壌が乾燥している状態が見られたら「かん水」を行いましょう。

【対策②】 燃焼資材

燃焼により園地の気温低下を抑えます。気温が1℃を下回ったら点火しましょう。

商品名	霜キラー	防霜ロック
参考価格	1袋/10kg 1,379円	マット20個 4,807円
	燃焼缶20個 13,284円	燃焼缶20個・ふた1枚 17,446円
	燃焼芯20個 3,972円	ふた1枚 869円
使用目安	10a当たり20個設置 1缶に霜キラー3kg、灯油800ml 燃焼時間：約3.5時間	10a当たり20個設置 1缶にマット1個、灯油4ℓ 燃焼時間：約3時間

【対策③】 葉面散布による低温予防

発芽15日頃からこまめに散布を行いましょう。

商品名	アイスバリア	霜ガード
		
参考価格	2,840 円 (1.1kg/本)	5,522 円 (10kg/袋)
希釈倍数	希釈倍率 100~333 倍	希釈倍率 50 倍 (開花期以降は 100 倍)

対策を組み合わせることで効果が高まります。

■休眠期防除の徹底

**近年、りんご黒星病やカイガラムシによる被害多発！！
休眠期防除の徹底をお願いします**

黒星病・胴枯病など越冬し第一伝染源になるもの、またはカイガラムシ類・ハダニ類など樹皮裏で越冬する病害虫は生育期に発生が増えると防ぐのが難しくなるため、その前に密度を下げるのが重要です。

発芽時期が早まると予想されるため、散布時期を逃さないようにしましょう。

【発芽時期】

樹種 品種	さくらんぼ 佐藤錦	りんご ふじ	もも 川中島白桃	西洋なし ラ・フランス	ぶどう デラウェア
前年 (R5)	3/23	3/23	3/16	3/19	4/16
平年	3/27	3/31	3/20	3/24	4/25

【休眠期防除】

・さくらんぼ

対象病害虫	薬剤名	倍数	収穫前使用日数 使用回数
カイガラムシ類	① スプレーオイル	50倍	発芽前 —
褐色せん孔病	② ムッシュボルドーDF	500倍	休眠期 —
カイガラムシ類幼虫	③ アプロードフロアブル	1,000倍	7日前まで 2回以内

・りんご

対象病害虫	薬剤名	倍数	収穫前使用日数 使用回数
カイガラムシ類 ハダニ類	① スプレーオイル	50倍	発芽前 —
腐らん病 (黒星病)	② ベフラン液剤25	1,000倍	休眠期 6回以内
カイガラムシ類幼虫	③ アプロードフロアブル	1,000倍	30日前まで 2回以内

・もも

対象病害虫	薬剤名	倍数	収穫前使用日数 使用回数
カイガラムシ類	① スプレーオイル	50倍	発芽前 —
せん孔細菌病 縮葉病・灰星病	② トレノックスフロアブル	500倍	7日前まで 5回以内
カイガラムシ類幼虫	③ アプロードフロアブル	1,000倍	14日前まで 3回以内

・西洋なし

対象病害虫	薬剤名	倍数	収穫前使用日数 使用回数
カイガラムシ類	① スプレーオイル	50倍	発芽前 —
うどんこ病 黒星病・胴枯病 腐らん病・輪紋病	② トップジンM水和剤	1,000倍	前日まで 6回以内
カイガラムシ類幼虫	③ アプロードフロアブル	1,000倍	30日前まで 2回以内

※詳しくは「令和6年JAてんどう病害虫防除暦」をご覧ください。